

# SSK使用水量 需要予測に反発

## 石木ダム反対派

石木ダム建設に反対する川棚町の地権者らと、佐世保市水道局が14日、市の将来の水需要予測をめぐり、激しく応酬した。焦点となったのは佐世保重工業（SSK）の使用水量。市は2015年度から急増すると予測するが、反対派は「あり得ない」と主張した。

この日、反対派約50人が公開質問状に対する市側の回答に、より詳しい説明を求めて水道局に集まった。

市は、SSKが新船建造よりも多量の水を使う修繕業務に力を入れる方針だとして、修繕業務での使用量として1日あたり4412トンを計上。SSK全体では15年度に日量5691トンと、11年度実績の5倍近い水量を見込んでいる。

反対派は「増加分の根拠が不明だ」と主張。数値の出どころがSSKか市かをめぐって紛糾した。修繕業務が連日行われる想定であることも疑問視された。

市は取材に対し、昨年4月にSSKが市に出した文書を示し、4412トンは市が算出し、SSKも了承している数値だと説明した。